

公益財団法人日本リトルリーグ野球協会
定時理事会議事録

- 1、 開催日時 2015年3月13日 午後2時～午後4時
 - 2、 開催場所 東京都千代田区丸の内1-7-12
サピアタワー8F 会議室
 - 3、 出席者 理事総数 7名
出席理事 7名（代表理事を含む。）
青木秀明 織田洋文 川口哲生、坂谷内実
寺澤明子 三田正志 森寫敏仁
監事総数 2名
出席監事 荒井伸 土田和広
 - 4、 議長 代表理事（会長） 坂谷内実
 - 5、 決議事項
第1号議案 2015年度事業計画案の件
第2号議案 2015年度の予算案の件
第3号議案 2015年度定時理事会の開催の件
 - 6、 議事の経過の要領及びその結果
定刻に代表理事が議長席に着き開会を宣し、本理事会は、定款第38条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げ、次の議案の審議に入った。
 - (1) 第1号議案 2015年度事業計画案の件
議長は第1号議案を上程し、森寫理事より別紙資料に基づき説明がなされ、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。
 - (2) 第2号議案 2015年度予算案の件
議長は第2号議案を上程し、森寫理事より別紙資料に基づき説明がなされ、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。
 - (3) 第3号議案 2015年度第1回定時理事会の開催の件
議長から2015年度第1回定時理事会を次の通り開催したい旨の提案と説明がなされ、この賛否を諮ったところ、全員異議なくこれを承認した。
- ① 開催日時 2015年5月8日（金曜日）午後2時30分から
 - ② 開催場所 サピアタワー8階会議室
 - ③ 議 案 2014年度事業報告の件
2014年度決算の件
定時評議員会の開催及び議案の件

7、 報告事項

(1) 職務執行状況の報告について

イ) 坂谷内会長より、以下の説明と報告がなされた。

- ①協会運営で法務対応を強化したい。これは昨年全日本選手権大会時に発生した規則違反による選手の出場辞退に至った事案の発端が内部告発であったこと、さらに今後予想される協賛社との交渉、個人情報管理・コンプライアンスなど不可避な事案に対応するため、そのためには法務顧問の新設を視野に入れている。
- ②日本代表チーム着用ユニホームの国名、国旗の表記に関して WBSC (世界野球・ソフトボール連盟) から規制の指針説明があったが、国内のリトルリーグ活動では現時点で直接的な影響はなく、これからも米国本部の方針に従っていく。
- ③国内の他団体交流試合については今後、極力参加していく方針とし、各連盟、関係団体の理解と協力をお願いしていく。ただしスポンサーとの関係に混乱が生じないように努める必要がある。

ロ) 森篤理事より、以下の説明と報告がなされた

①2015年度の協会主催大会の開催要項で、宿泊費の規定を一部変更した。また、今後は各大会宿泊費の参加者負担など必要経費の見直しが必要と思われる。その場合、大会経費削減分は普及振興事業へ振り分け、活用していくことにしたい。

②IBAF(国際野球連盟)U12ワールドカップ(7月、台南)の日本代表候補選考のため3月30日に各連盟推薦候補選手による選考会を実施する。参加選手は約30名で推薦は12名程度。

イ) 青木理事より、日本野球連盟から公認審判員登録手続きの協力依頼があった、との報告がなされた。これは全日本野球連盟が実施しているアマチュア野球審判員制度改革の一環で、各団体に審判員の登録を要請しているもの。リトルリーグでは4月1日までに、まずは連盟の審判役員50名程度を登録し、順次増やしていきたい。

ロ) 川口理事から、フジテレビが広告代理店と事業協賛でリトルリーグの番組提供を企画している。その内容はドキュメンタリーで、今秋にも実現させたい、との報告があった。

イ) 時 30分) ~二) はいずれも了承された

(2) 平成 27 (2015) 年度 資金調達及び施設投資の見込みについて

坂谷内会長から次の通り報告がなされた。

ア) 資金調達の見込みについて。

当年度における借り入れの予定はなし。

イ) 設備投資の見込みについて

当年度における重要な設備投資（除去または売却を含む）の予定はなし。

ア) ~イ) はいずれも了承された。

以上をもって本日の議事は終了したので、議長は午後4時に閉会を宣し、解散した。